

1月15日 学習者用コンピュータの正しい使い方を考え、実行しよう。

知っている人もいると思いますが、先週、新聞やテレビ等で、市内の小学校で、学習者用コンピュータを使って、着替えを撮影するということがあったと報道されました。このことについては、教育委員会とその学校が、警察などと連携して対応をしているので、安心してください。

ただ、この事件から皆さんに、しっかり考えてもらいたいことがあります。それは、相手の許可なく写真を撮って悪いことに使う、着替えの様子を撮る、そして撮ったものを見合う行為は、相手に対して大変嫌な思いをさせる行為であり、絶対に行ってはならない行為ということです。やった人は軽い気持ちであったとしても、やられた本人はもちろん、その家族や周りの人たちも大変傷つき、許される行為ではありません。そして、やってしまった人も含め、関係した人すべてが、つらい思いをすることになります。

学習者用コンピュータは、インターネットで様々なことを調べたり、皆の考えを共有したり、大変便利な道具ですが、使い方を間違えれば、友達や自分の周りの人を傷つける道具にもなります。皆さんは、学習者用コンピュータのよりよい使い方とともに学習者用コンピュータを使った相手が嫌がること、傷つけることにはどんなことがあるかも考えて、それをお互いにしないようにすることが大切です。

また、学習者用コンピュータ以外でも、日頃から、誰かが嫌がることや傷つけることをやらないことはもちろんのこと、もし自分がやられたり、自分の周りで見つかりしたときは、どうしたらいいかも考えてほしいです。

そして、決してそのままにせず、止める勇気を持ち、友達や先生をはじめ近くの人に相談することが大切です。相手が嫌がることをする人、それを見ているだけの人にはならないようにします。

桜野小学校の皆さんは、いつも優しく心が温かいです。皆さんの力でよりよい使い方をしていきましょう。最後に、今回のことを知って、不安になったり、嫌な思いをしたりした人もいます。何か心配なことや相談したいことがあったら、先生や保健室の養護の先生、相談室のカウンセラーなど、大人の人にいつでも相談しましょう。